



## 多彩な合唱交流！昴「君死にたまふことなかれ」を熱唱！市内南部合発で

1月1日



□7月1日(日)13:10より中央区民センターで「2018年市内南部地域合唱発表会」が開催されました。今年は昨年を上回る19団体の合唱団の参加がありました。梅雨明け？の猛暑日、早朝より集まり、日頃各地域で活動・奮闘している合唱団が得意の曲目を発表。さまざまなジャンルの合唱曲や創作曲を歌い、聴き合う合唱交流の場となりました。昴は昨年12月3日(日)の第11回コンサートで歌い、また来年2月22日の第12回コンサートの大曲の1つ「君死にたまふことなかれ」(与謝野晶子詩 石若雅弥作曲の男声4部合唱)を熱唱し、9月9日(日)に予定されている「大阪のうたごえ合唱発表会」(LICはびきの)への推薦団体に選ばれました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全37名でした。(合唱発表会撮影:西島国介氏)



□また本並先生指揮の「関西紫金草合唱団」は「むぎや」(作詞・作曲 岩河三郎)を、「ロシア民謡合唱団コスモス」は「けし」「カチューシャ」「ともしび」を披露しました。また昴のメンバーが参加している合唱団では、「ちばりょー沖縄」が伊藤さんの指揮で、ちばりょーのメンバー作詞作曲の「花のすがたに」「沖縄の瞳で」の2曲を、また「大阪明日歌合唱団」が「希望の種を蒔きながら」「翼をください」を、「キアラ・コンパニーア」が「翼」「初心のうた」を合唱しました。

南部合発  
審査員講評

平成30年7月1日 於:中央区民センター

[ 審査結果 ]

【シード団体】・衛都連合唱団・ロシア民謡合唱団コスモス

【推薦団体】・ウイングス・ルンルン・関西紫金草・なのはな・キアラ・コンパニーナ  
・グリーンコーラス・ちばりよー沖縄・昴  
(計8団体…出演順)  
(補欠) 大阪府庁うたごえ

【交流参加】・スマイルエコー・倫理法人会

[ 講評 ]

審査員 (団)	曲評	全体評
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>素敵なソロと深みのある厚みもある男声合唱に魅了されました。</li> <li>この歌が身にしみ現在です。二度と再び若者を戦場に送り出す日の来ないことを祈ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず、団員が増えたことに拍手！です。</li> <li>さすがの演奏！一緒に全国大会に行きましょう。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>男声合唱の迫力は充分感じられた。</li> <li>独奏の部分とコーラスとの流れがとても心地よかった。</li> </ul>	(全体評なし)
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数もさることながら、迫力に圧倒されます。</li> <li>歌詞と照らし合わせるとゾッとする思いもあります。</li> <li>完成された1曲ですね。</li> </ul>	(全体評なし)
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>圧倒されるような響き。すてきでした。</li> </ul>	(全体評なし)
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数が多いので、これだけの合唱が出来るのでしょう。</li> <li>練習も多くされているのでしょうか、すばらしいです。</li> </ul>	(全体評なし)
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>迫力あるすばらしい演奏です。</li> <li>ソロもすばらしかった。パートのバランスもよかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心に残るいい演奏でした。</li> </ul>
G	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半、言葉がしっかりと伝わってきました。</li> <li>ベースの声はききとりにくいです。</li> <li>すばらしい演奏でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>迫力だけでなく、もう少し言葉を伝えるための工夫がほしいです。</li> </ul>
H	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の入りよい。「君死にたもう…」静かなコーラスより</li> <li>最初から最後まで引き込まれる演奏だった。</li> </ul>	(全体評なし)
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイコー！</li> </ul>	(全体評なし)
J	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソロの方の存在感がスゴイ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性がこれほどの人数で歌うと圧巻です。</li> </ul>
K	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数も多く迫力ありました。Good!</li> </ul>	(全体評なし)
L	<ul style="list-style-type: none"> <li>この人数の男声合唱でのこの曲の演奏は、初めてきました。</li> <li>テンポの取りににくい歌ですが、指揮をよくみて歌いましょう。</li> <li>4・5の間奏での盛り上げに工夫を (ピアノをよく聞いて、A hでどう盛り上げて5番に繋げるか)</li> <li>気持ちはよくこもっています。</li> </ul>	(全体評なし)
M	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争のむごさを力強く歌い上げていてよかったです。</li> </ul>	(全体評なし)
N	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の流れにもう少し変化があると、もっといい。</li> <li>この曲のベースにあるリズムをどう感じ、表現をどう変えるか、工夫するともっとよくなるとおもいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男声合唱として圧巻です。</li> <li>迫力ある演奏ですばらしいです。</li> </ul>

合唱発表会当日の審査員(帰代表)の榎本さんから上記「審査員講評」をまとめていただきました。ありがとうございました。当日の感想も寄せていただきました。(帰ニュース編集子:なお、審査員名は編集子の独断でアルファベットで記入しました。)

昨日はお疲れさんでした。

審査員の講評結果がまとまりましたので送付します。

審査員全体の感想として、出演団体の技術レベルが益々向上しているとのことでした。

「南部」は数の力で通過できましたが、まだ「口パク」の人も何人か見受けられ(私自身、1箇所口パクになってしまいました)。LICに向けて一層の努力を要すると思います。

今の状況にアグラをかくことなく、頑張っていきましょう。(榎本 2018.7.2)



## 「夕焼け」「浜辺の歌」とともに合発曲の「君死にたまふ」の最終調整レッスン！

6月29日

□6月29日(金) 18:00~20:30帰定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と吉岡さんのリードでの「滑舌の訓練」(「早口言葉の歌1,2」)、千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、12回コンサート曲の「夕焼け」「浜辺の歌」をレッスンしました。休憩をはさんで、7月1日(日)市内南部合唱発表会で演奏する曲目「君死にたまふことなけれ」を、本番を想定して暗譜で、全曲を通して、音程、リズム、ことば、情感の表現の確認、強弱等しっかり確認しながら、舞台に立った形で練習しました。ピアニストは森二三さん。参加者は全39名でした。

□休団中の小林誠さんが久しぶりに顔を見せレッスンに参加しました。団内コンサートへの参加と12回コンサートにステージで立てるようにしたいと元気に近況報告されました。

